

2010年12月2日
No 1028号
働くルールの確立で
人間性の回復を

明治乳業争議団 ニュース

発行 明治乳業争議団
連絡先 〒272-0015
千葉県市川市鬼高2-6-2
☎・Fax 047-332-5698
E-mail minyu88sgd@wing.ocn.ne.jp
HP http://meinyu-suogi.web.infoseek.co.jp

事業再編に伴う

「リストラ・雇用破壊」を許すな！

明治乳業は事業再編前に、争議の解決を決断せよ！



写真は「争議解決の決断せよ」と、明治HD前で行われた抗議要請行動(4月13日)

明治HDは、傘下の事業会社(明治乳業と明治製菓)を、2011年4月1日付で食品事業会社(商号:株式会社明治)と、薬品事業会社(商号:Meiji Seikaファルマ株式会社)の、新たな2社体制に再編すると9月14日に発表しました。

支援共闘会議及び争議団は、事業再編も視野に置きながら、明治製菓と明治乳業の全国事業所、支社・本社、明治HD「座込み」「抗議要請行動」など等、首都圏でも全国的にも攻勢的に闘い、改めて、明乳争議の重要性と解決への決意を鮮明にしてきました。因みに2010年度、こうした行動には延べ2,850名以上が参加し、社前「座込み(14日間)」には延べ639名が参加しています。

全労連が25回大会後の常任幹事会(10月18日)で、明治乳業争議への支援決定を行い、全国規模への運動の基礎がつけられました。

闘いの基本は、

①会社包囲では、「食品一般ユニオン」結成を契機に、高裁判決の事実認定に基づく争議解決要求を、事業再編に伴う「リストラ・雇用破壊」を許さない闘いと結合し、明治HD及び明治乳業を新たな水準の闘いで追い込むこと。

②都労委では、公益委員の「救済しなければならぬ事件」という心証の、早期形成を目指して攻勢的な運動を構築することです。

まだまだ、頑張ります。皆さんの一層のご支援をよろしく願います。

都労委の審問日程

12月7日(火)
10:00~12:00

2011年
1月19日(水)
10:00~12:00

1月31日(月)
15:00~17:00

支援傍聴よろしく
願います。

年末カンパのお願い

日ごろのご支援本当にありがとうございます。
皆さんのご支援に支えられ、明乳争議「全国事件」を正面に、なんとしても都労委での闘いを勝利すべく全力で取り組んでいるところです。

恒例とは言え、一段と厳しい経済状況の中ですが、「年末カンパ」に一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

次年度は、文字通り「争議解決を現実のものとする年に」と奮闘を決意しているところですが、同封の振込用紙、または先の口座へご協力をお願いします。

加入者名
明治乳業食の安全と
職場を考える実行委員会
口座番号
00170・7・555867

ご支援ありがとうございました

10 埼玉救援美術展

11月1〜4日の4日間にわたって埼玉教育会館で行われた「10埼玉救援美術展」は大勢の参加と沢山の協力があり大きな成功を収めました。

参加いただいた皆さんに改めて御礼を申し上げます。
引き続き、争議の勝利までご支援をよろしく願います。



明乳争議団が贈る音楽の夕べ 「人として生きる」

11月19日、市川市の文化会館で行われた、明治乳業争議団が贈る音楽の夕べ「人として生きる」は、会場をほぼ埋め尽くした350名余の参加者と争議団が、感動のひと時を共有し争議勝利を目指し心をひとつにしました。

ゲストの梅原司平さんのステージは予定時間を大きく越え、た熱演で、終演後の懇親会でも大きく盛り上がりました。



団員の横顔

市川工場事件の申立人
額賀三男さん

茨城県鉾田市の高校を卒業して1964年4月明治乳業市川工場に入社。入社後は出荷事務所の業務を担当し、正義感が強く、やさしい人柄から事務課の女性をはじめ牛乳の配達車を運転する人達からも慕われていました。

争議団では事務能力を活かして会計を長年にわたって担当し、厳しい争議団財政を切り盛りしている。

地域では千代田区を担当し、行商活動の時期になると定期券を購入して通いつめるなど、粘り強い活動には定評がある。

趣味は、フルマラソンに若い時から挑戦するなど、今でもジョギングは欠かさない。普段は、決して口数は多くないが、お酒が入るとそのように雄弁家となる。お酒の強い団員の佐々木洋治さんとは良くツルンデ飲むが、決して深酒はしない意思の強さもある。

団会議では、良く人の話を聞き、時として鋭い発言が飛ぶ。総じてやさしい男である。



額賀三男さん
ビールが大好きです。



都労委に迅速な審理・救済を 求める団体署名にご協力を！

全国事件（9事業所32名）「集団間格差」の存在に対し、都労委審理は、申立人ら総論・個別立証によって、明治乳業が全国的に行った組合活動家らに対する差別・排除攻撃の実態や、インフォーマル組織を構成しての不当労働行為などが、各工場の具体的事実によって改めて鮮明になり「合理的な格差」だと強弁すました。今年7月からの会社証人審問では、否定しがたい



会社の行った不当な差別は、申立人の立証で明々白々です。

法的に無意味な相対比較 抜き「アラ探し個別立証」 の規制を要求

申



立人らと弁護団は、相対比較抜き「アラ探し個別立証」は、相対評価を前提とする明治乳業の人事考課制度とも矛盾する、格差の合理的理由とはなり得ない無意味な立証として、審査指揮で厳しく規制することを求めています。また、11月29日の会社証人への反対尋問でも、相対比較抜き

「アラ探し個別立証」の矛盾が追及され、結局、申立人らを狙い撃ちにしていく実態が浮き彫りになったのです。私たちが、来年4月からの「明治乳業の人事考課制度とグループ事業再編」を巡る動きは、来年4月からの「明治乳業の異質な企業体質」と先行した市川工場事件への不当命令・判決があります。しかし、市川工場事件への高裁判決は、「集



団署名へのご協力を重ねるべく、全労連の支援決議を受け、全国展開での団体署名に全力！

迎えている事件への迅速な救済措置を求める要求で、都方方針で奮闘しています。

全労連の支援決議を受け、全国展開での団体署名に全力！

明治乳業争議団は、10道府県（北海道、埼玉、千葉、茨城、静岡、愛知、石川、京都、大阪、福岡）の、工場に在籍していた全国64名の争議団です。しかし、長期争議の中で全争議の大半が定年退職を迎え、すでに8名の仲間が志半ばで亡くなっています。背景には、明治乳業の異質な企業体質と、先行した市川工場事件への不当命令・判決があります。しかし、市川工場事件への高裁判決は、「集

明治HDの事業再編による 社員犠牲は許されない

明治HDは、来年4月から食品事業と医薬品事業の2社体制に再編し、食品事業関連は明治製菓の菓子部門を明治乳業に吸収して「株式会社明治」とします。薬品事業は、「Meiji Seikaファーマ」となります。事業再編は「現体制ではダイナミックさに欠け、統合効果のスピードが落ちる」などとして、2年前の経営統合効果の早期実現をめざそうというものです。この事業再編に一部マスコミからは「食品企業にとって社名変更は大きな決断。それぞれの分野でトップである両社を一本化させるのは荒業ともいえる」（週刊東洋経済）という厳しい見方もあります。

「転籍・出向は実施」と明記 連結子会社だけでも51社が出向 対象？

提案による、今後の要員配 置の基本的考え方として「... 重復業務の統合や組織効率の向上を図っていく」といって、4月の再編以降もさらに事業の統廃合は続きます。薬品「ファルマ」での支店・営業所、食品「明治」の支社・支店の統廃合が予定され、さらに食品と薬品の両社間の転籍・

年収120万円もの2社間格差 をどう一本化するのか

「調整給・激変緩和措置」は賃金後退のあかし
再編は、賃金や労働条件など様々な違いのある両社を一本化するものです。食品業界年収120万円もの2社間格差をどう一本化するのか



大幅なダウンが目に見えています。一時的に移行時調整給などでしのいでも、長期的には大幅な後退となることを物語っています。

「資格賃金制度」の移行により、従来の賃金額が多くなる場合、その差を調整給で補うとしています。賞与でも、今